

松中だより 家庭教育支援資料2

学習成績と進路

夢や希望を持つよう、家庭での話し合いを

人は夢や希望に向けて努力する動物です。目標があれば生活も生き生きしてくるものです。親として子どもに夢や希望を語り続ける存在でありたいものです。また、最近はニートやフリーターなど、正規の職業につかない若者も増えています。身近な大人として、ぜひ職業観なども伝えていきたいと思います。中学3年間で決めるべきことは卒業後の進路を生徒自身が決めることですが、何となく進学するというよりは、将来の目標の為に確かな意志を持って進学の方がより望ましい姿であると思います。家庭でも子どもの夢や希望について話し合いを深めましょう。

「夢あるものに目標あり、目標あるものに計画あり、計画あるものに行動あり、行動あるものに成果あり」

家庭でも読書の習慣化を

授業やテストを終えて、よく思うことは、問題内容をよく理解できないまま解こうとしている生徒が少なくないことです。問題の意味がわからなければ答えが出せるはずがありません。問題を解く上で、文を読み内容を理解することを第一歩と考えれば、読書はその基本となります。本が好きな生徒、本をたくさん読む生徒は語彙も豊富で、文章を読む力もあります。子ども達にはできるだけたくさん本を読んで欲しいと思います。親が読書する姿を見せることも必要でしょう。また、思ったことや考えたことをまとめて書いてみることも大切です。日記をつけることなども最適です。是非、実践を。

得意な教科は？

「とにかく得意な教科・好きな教科をつくりなさい。ひとつ得意な教科をつくれれば、他の教科の学力も伸びるはずです。」とよく言います。得意な教科や好きな教科があると、自分に自信が持てますし、その教科の勉強も進んでできるようになります。自分の興味・関心のある教科・内容を学習し得意教科をつくりましょう。子どもが好きな教科を把握し、応援してあげてください。

学習時間はどれくらい？

家庭学習にどれ位の時間を確保すればよいのでしょうか？一般的に学年×10～15分が適当だそうです。これを当てはめると（中学1年は7年と考えます）、中学校1年生では70～105分、2年生では80～120分、3年生では90～135分になります。大人でも2時間集中して勉強するのは大変ですし、集中できる時間には個人差もあります。大切なことは**各自にあった時間で毎日継続すること**（「**継続は力なり**」）。しかしながら、“忘れる”ということが往々にしてあります。繰り返し学習することが大切です。二日間覚えていた内容は、長い間、脳に記憶されるそうです。家庭でも学習を行うための環境づくりをお願いします。また、繰り返し学習することの大切さについて家族の話題にしてみてください。